

令和2年10月 鶺川ダム工事の様子

定点写真



ダムサイト 下流上空から望む



原石山を望む

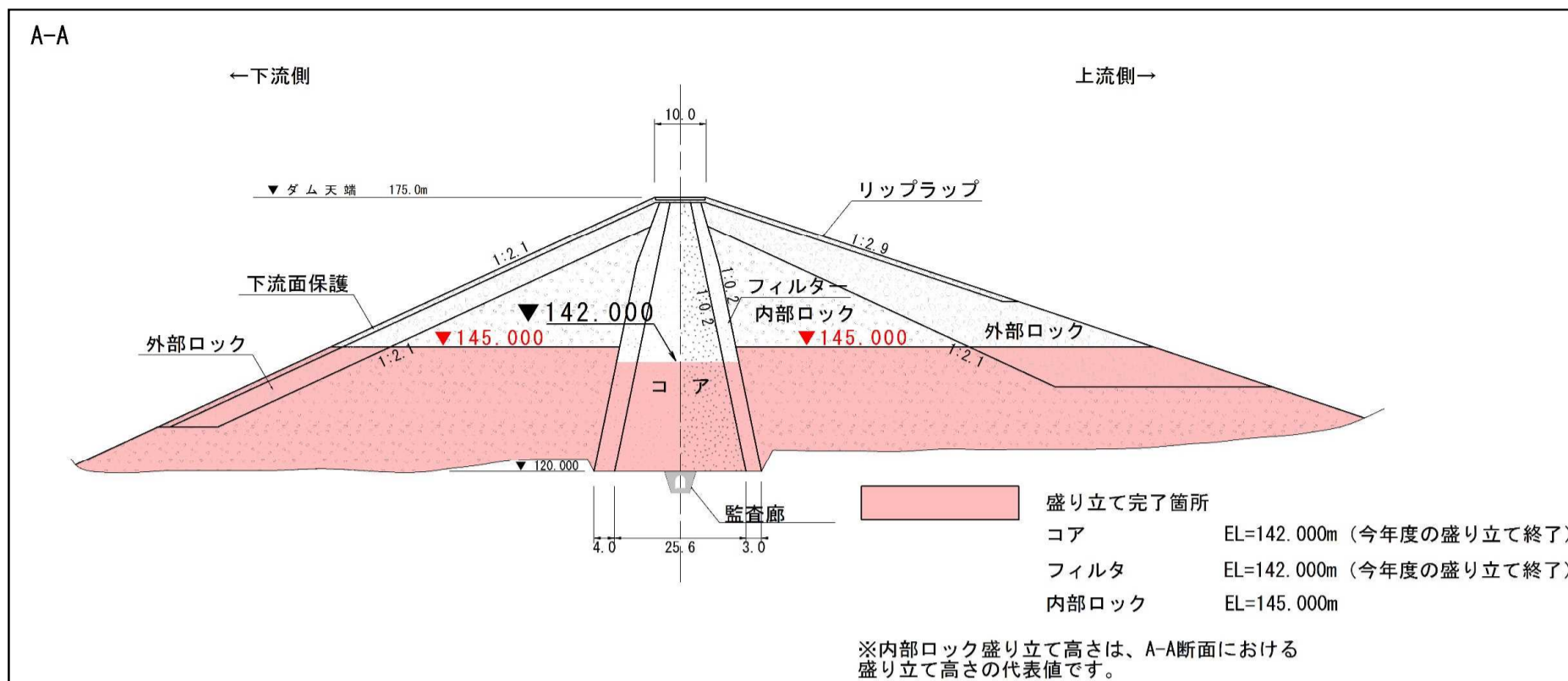


洪水吐 下流上空から望む

堤体河床部 盛り立て進捗状況



左岸から堤体河床部を望む



ダム断面図（令和2年10月31日施工分まで）

今月のトピックス☆

～原石山法面保護工の紹介～

原石山では、ダムを構築する材料を採取するために、毎日大型の機械が稼働しています。材料採取後には、風化による山の劣化防止及び、緑化・自然回復を目的に法面の保護を行います。

鵜川ダムでは、工事現場で発生する伐採木などをチップ化し、添加材を加えて施工する法面緑化工法で法面保護を行っています。

今回は、原石山で実施している法面保護について手順を追って紹介します。

【手順①】ダム完成後の貯水池となる場所の木を伐採します。



貯水池内の伐採状況

【手順②】 伐採した木を一次破碎、二次破碎を経てより細かくし、生チップ化します。



伐採木の破碎状況

【手順③】 原石山に設置したプラントにて、生チップに添加材等を加えブレンドします。



プラント設置状況

【手順④】 プラントで生成した植生基材を法面に吹き付けます。



植生基材吹き付け状況

【手順⑤】 植生基材吹き付け完了。時間が経つと上段の法面のように緑化されます。



植生基材吹き付け完了